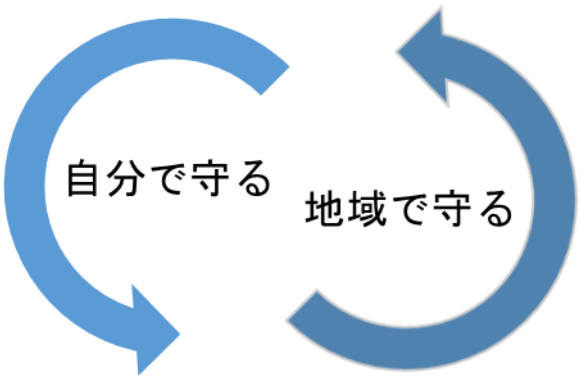
令和２年４月改訂

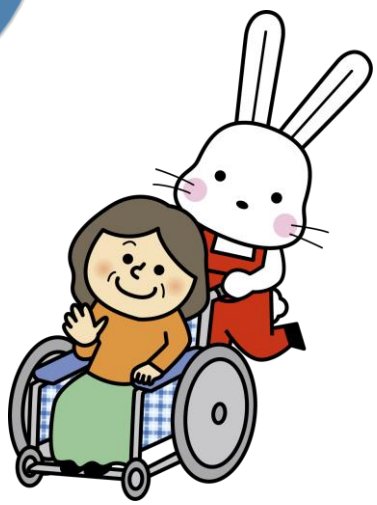
保存してご活用願います。

障がいのある方の災害対応てびき

～災害から身を守るために～

内部障がい（心臓）のある方へのサポート





福島市いきいき共生推進委員会

福島市

支援者用

内部障がい【心臓】のある方をサポートするとき

【大切なこと】　ひとり、ひとりの状況を把握しましょう

■ 主な特性等

- 心筋梗塞、狭心症、弁膜症や不整脈等の疾患のため、心臓機能が低下し、動悸、胸痛や胸の重苦しさ等の症状が出ることがあります。
- 薬物療法やペースメーカー等で体調の安定を保っています。
- 一定以上の身体活動、心的ストレスにより心臓に負荷がかかると、呼吸困難や狭心症の発作等の症状が起こることがあるため、医療的ケアが必要な場合があります。

■ 避難誘導の仕方

- 発作時の薬が必要な方もいるので、避難時に確認しましょう。
- 安否確認時に、安全な場所で、医療機器の継続使用が可能な状態であることを確認しましょう。
- 本人の状態に適した避難場所への移動を希望するか確認しましょう。
- 重い物は、代わりに持つ等、声をかけて手伝いましょう。

【自力で避難することが困難な場合】

車いすやストレッチャー等の移動用具を確保することが望ましいですが、移動用具が確保できない場合には、毛布等で作った応急担架により避難をお願いします。また、必要に応じ、迅速に安全が確保された医療機関への誘導・移送をお願いします。

■ 避難生活支援で気をつけること

- 動悸や息切れ等が起こりやすいため、イスに座らせる等の配慮をお願いします。
- 薬やケア用品の確認と、各種装具・器具用の電源等の確保をお願いします。
- 医療器材の消毒や交換をするときは、清潔な治療スペースが必要になります。
- 医療的措置が必要と判断される場合は、安全が確保された医療機関へ速やかに移送をお願いします。

【避難所での支援】

- 携帯電話の電波の影響（２２センチメートル以内に近づくと影響を受けやすい）や、免疫力や体力が低下した方のため、衛生的で安全な環境を整える等の配慮をお願いします。
- 非常食で対応できない場合があるので、食事療法に合致した飲食物の確保をお願いします。
- 避難所周辺の医療関係者、かかりつけ医等との連絡方法の確保をお願いします。

■ 災害発生時に困難なこと

- 自力歩行や素早い避難行動が困難な場合が多いです。
- 自力で避難することが困難な場合があります。

■ 本人、家族等から支援者へ（知っておいてほしいことを記入しましょう）

（自由記入欄）

ヘルプカードをご活用下さい

本人・家族用

■ 非常用持出品や備蓄品

（本人、家族や地域支援者と一緒に確認･準備することが大事です）

☐ 中断できない薬や点滴等とその用具

☐ 治療食や特別食

☐ ペースメーカーについて対応してくれる医療機関や業者の連絡先のメモ

☐ 情報を記入したカード（例えば、救急安心お守りカード）

☐ その他（　　）

■ 事前の対策

（本人、家族や地域支援者と一緒に確認･準備することが大事です）

- 薬や治療食等の備え、災害時の対応について、主治医と相談しておきましょう。具体的には、薬の作用や作用時間の長さ、飲めなかったときの影響等を確認しておきましょう。
- 「救急安心お守りカード」等にも治療方法や介助方法をわかりやすく記入しておきましょう。

■ 災害発生時にすること、気をつけること

- 一定以上の身体活動、心的ストレスにより心臓に負荷がかかると、呼吸困難や狭心症の発作等の症状が発症するため、無理な行動はせずに助けを求めるようにしましょう。

■ 避難するときに気をつけること

- 発作止めの薬が必要な方は、必ず身に付けましょう。
- 自力歩行や素早い避難行動が困難な場合があるため、転倒等に気をつけましょう。
- 呼吸困難や狭心症の発作等の症状が少しでも見られた場合は、医療機関へ速やかに移動できるよう助けを求めましょう。

■ 避難生活で気をつけること

- 医療的措置が必要と判断される場合は、安全が確保された医療機関へ速やかに移動しましょう。
- 医療器材の消毒や交換等の際は、清潔なスペースで行いましょう。
- 各種装具・器具用に使用する電源等の確認をしましょう。